

フォールディングドアウェート 廃棄要領書

 株式会社 **北村製作所**

目次

1. はじめに
2. 準備品
3. 取り外し方法

1. はじめに

フォールディングドアのウェート(鉛)は有毒物の為、他と別処理で廃棄することになっています。

本要領書に従って安全に取り外し、ウェートを適切な処理方法により処理して下さい。

2. 準備品

ウェート取り外し作業前に下記の物を準備してください。

(1) シャコ万力(小型)・・・2ヶ

(2) ハシゴ(屋根上へ昇るため)・・・1本

(3) 堅木棒(長さ40～50cm)・・・1本

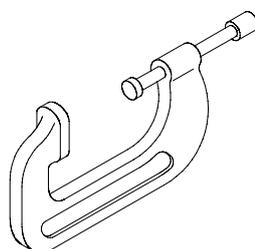
(作業助手が居る場合)

(4) 油圧ダルマジャッキ・・・1基

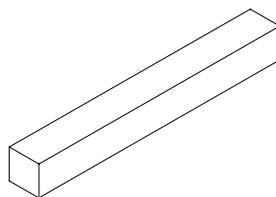
(作業助手が居ない場合)

(3)(4)はバランスウェイトを下から押し上げるためのものです

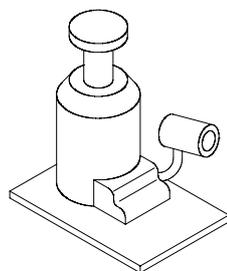
(5) 工具一式



シャコ万力

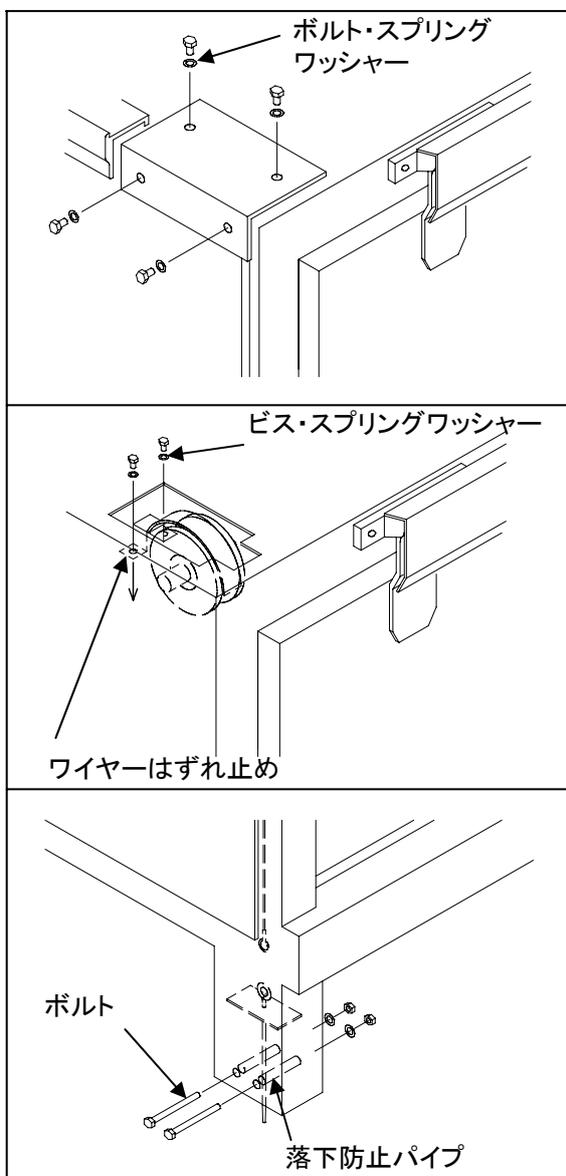


堅木



油圧ダルマ
ジャッキ

3. 取り外し方法(1/3)

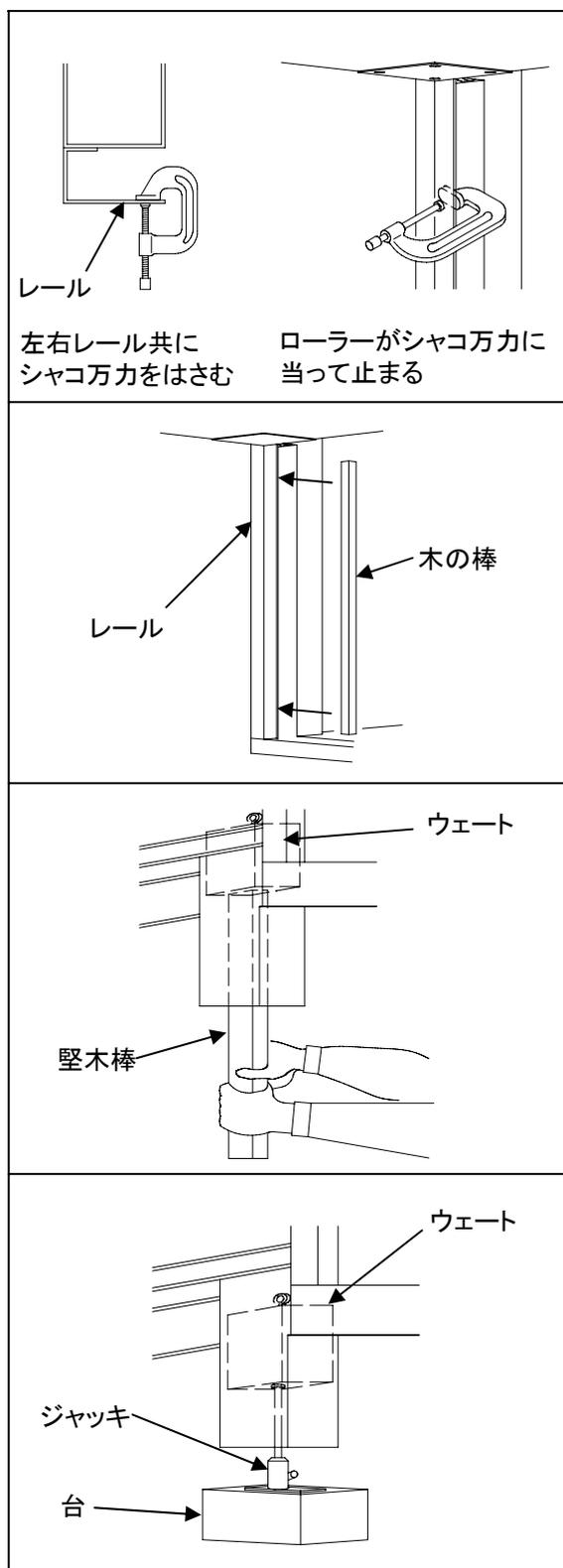


(1)
車にハシゴをかけ、上方カバーのボルトをはずし、上方カバーを取り外します。

(2)
角孔の中のワイヤー外れ止めのビスをはずし、ワイヤー外れ止めを上へ取り出します。

(3)
バン下方の balanサーガイドのボルトを取りはずし、落下防止パイプを下方へ取り外します。

3. 取り外し方法(2/3)



(4)
フォールディングドアを全開にし、
シャコ万力で左右のレールをしっかりと
はさみ、ドアが閉まらないようにします。

作業中シャコ万力が緩んでドアが落下
しない様にしっかりと締め付けます。

※
もしシャコ万力が無い時は、レール内に
丈夫な木の棒を入れローラーを下から
支えるようにします。

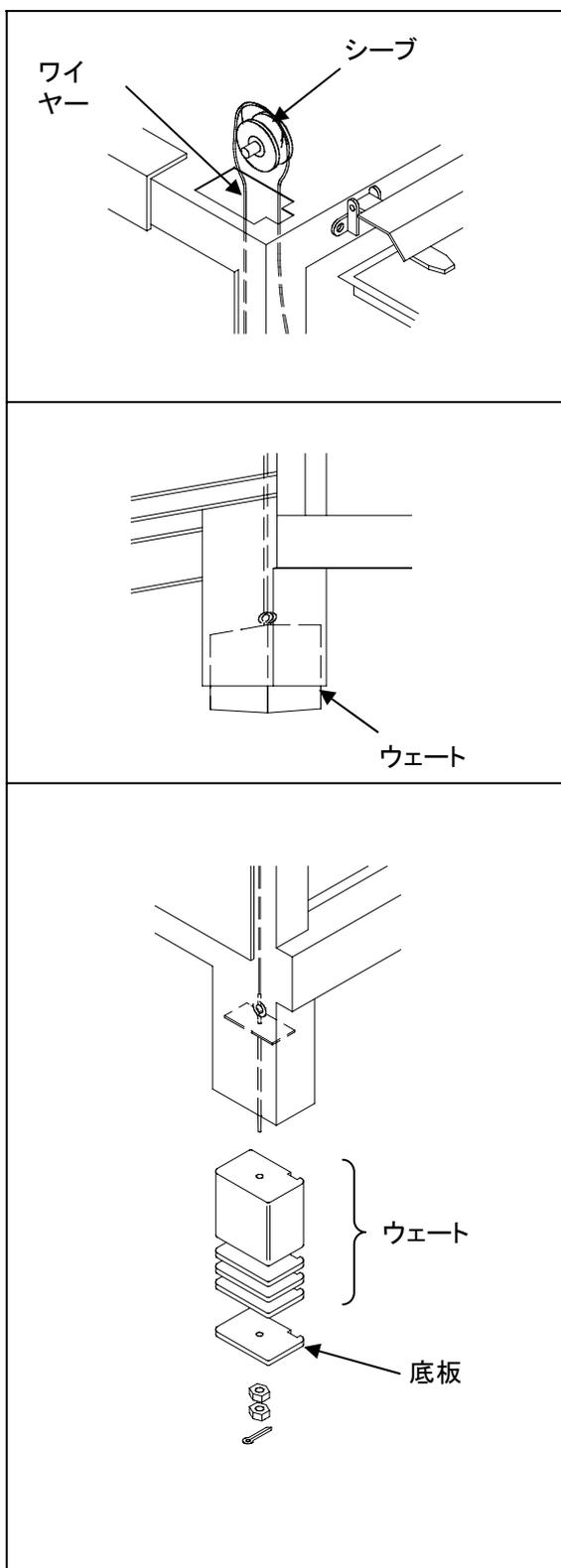
棒がはずれないように注意して下さい。

(5)
作業助手が居る場合は助手に堅木の棒
(長さ40～50cm)を使って、バランス
ウェートを下から上へ突き上げてもらいます。
ワイヤーをたるませるためです。
バランスウェートは、鉛製で重い
(約10～30kg)のでしっかり支えて下さい。

※
もし作業助手が居ない場合は、油圧ダルマ
ジャッキと適当な台を利用しウェートを突き
上げて下さい。

ジャッキが倒れない様注意して下さい。

3. 取り外し方法(3/3)



(6)
屋根上の角孔からシーブ(滑車)を取り出します。

※
シーブの軸を紛失しない様注意し、シーブ、軸にゴミ、砂などが付着している場合には、きれいに拭き取って下さい。

(7)
ウェイトの突き上げをやめ、ウェイトを下へ降ろします。

※
ウェイトは完全にガイドから抜けません。

(8)
ウェイト下端のナットをはずし、底板、ウェイトを分解します。

※
ウェイトは大きなものと平板状のものとの組み合わせになっています。

鉛製で重いので、急に落下して怪我をしない様に注意して下さい。

尚、底板のナットは車によっては
①割リピンで緩み止めをしているもの
②板を折曲げてナットの緩み止めをしているもの
③ダブルナットになっているもの
④底板にナットが溶接されているものがありますので、現車を見てウェイトを外して下さい。